

函館市 部活動地域移行通信

No.3

令和 6年 12月 23日発行
函館市教育委員会
学校教育部教育政策課

拠点校方式による部活動の モデルケースの様子を紹介します

今年8月から、湯川中学校を拠点校とした野球と戸倉中学校を拠点校としたサッカーの2種目で拠点校方式による部活動をモデルケースとして始めました。

野球は、湯川中、戸倉中、旭岡中、深堀中から26名が参加、サッカーは戸倉中、湯川中、旭岡中から25名が参加し、休日を中心に活動を行っています。

先日、拠点校方式による部活動に参加している生徒の皆さんにアンケート調査を実施しました。アンケートの結果や拠点校方式の部活動に関わる学校や教員の声を聞きながら、来年度以降の拠点校方式による部活動について検討していきます。

野球部
拠点校：湯川中



サッカー部
拠点校：戸倉中

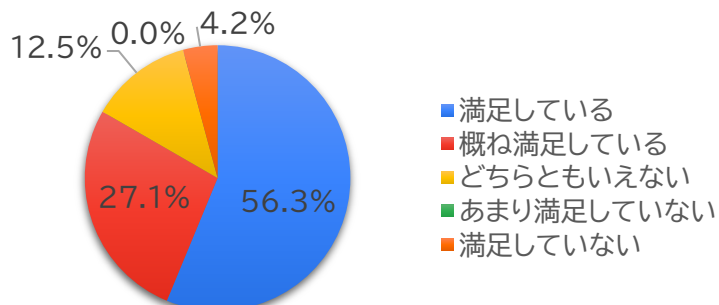
拠点校方式による部活動とは

拠点とする市立学校を活動場所として定め、他の学校の生徒も参加できる形で実施することにより、当該生徒の在籍校に希望する部活動がない、希望する部活動はあるが人数が少なかったり、専門的に指導できる顧問がいなかったりする場合に、拠点となる学校が受け入れる方式

拠点校方式による部活動に関するアンケート結果

結果数値は小数第2位を四捨五入していますので、合計で100%とならない場合があります。

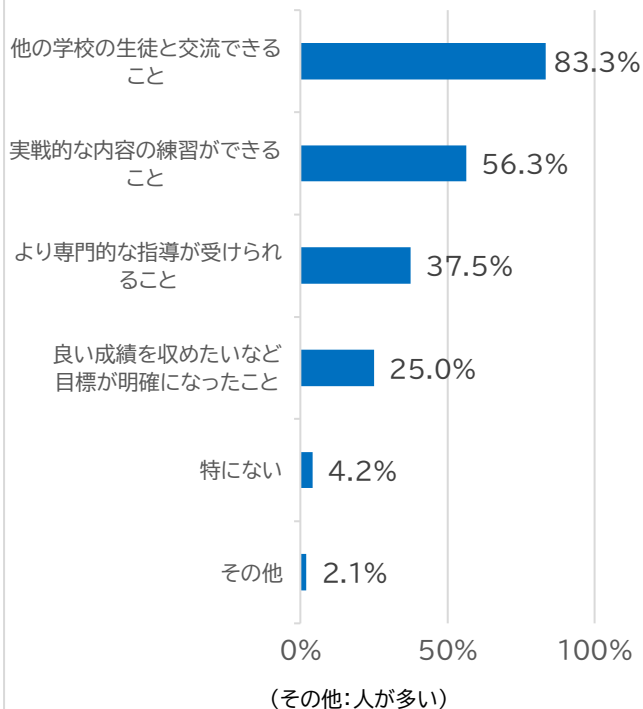
拠点校方式での部活動はどうか



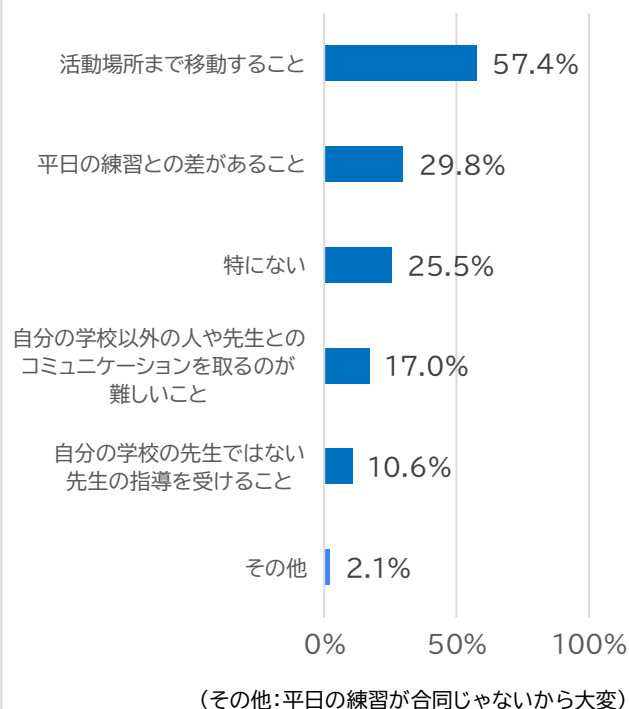
拠点校方式の部活動に参加している48名の生徒から回答がありました。



拠点校方式の部活動の良いことはどんなことですか。(複数回答可)



拠点校方式の部活動の大変なことはどんなことですか。(複数回答可)



アンケート結果からは、拠点校方式での部活動について、「満足している」「概ね満足している」を合わせると、83.4%の回答がありました。また、良いことは「他の学校の生徒と交流できること」が83.3%、「実践的な内容の練習ができること」が56.3%、「より専門的な指導が受けられること」が37.5%、大変なことは「活動場所まで移動すること」が57.4%、「平日の練習との差があること」が29.8%、「特にない」が25.5%の回答となりました。

(部活動の地域移行につきましては右のQRコードから市のHPもご覧ください。)

